

応援ナースの声vol. 4 2024.5.9地域応援ナースインタビュー 南の国から来た地域応援ナース

応援期間：2023.5.11～2024.5.10（1年間）

応援施設：社会福祉法人北海道社会事業協会岩内病院（岩内郡岩内町）

地域応援ナース：星野衣保さん（四国：愛媛県松山市）



応援ナースになるまでの経緯

2022年5月に応援ナース登録（愛媛県内の急性期病院に就業中）

旅行で訪れたことのある北海道で生活してみたい、新たな施設にチャレンジしたいと思い応募。年度末の退職意向を、秋までには上司に伝えたいと思っていた。応援ナースの就業は、次年度の4月以降と考え、これまでの急性期病院での経験を活かせる施設を希望し、コーディネーターとともに、様々な施設を検討した。

忙しい日々の中で、メールや電話等で話し合いをしながら、約10か月間準備を進めた。

「ちょっと恥ずかしい理由なのですが（家族のもとに残す）ワンちゃんの心配が一番大きいかもしれません」…などの点からも、交通の便が良く、帰省のしやすい施設を、2023年2月に決断

2023年5月、いよいよ北海道へ 6か月間の予定で応援ナースとして就業開始

就業期間中に、応援期間を1年までに延長！さらに、もうしばらく北海道に残りたいとの気持ちで施設と契約延長!!



驚き・感動から日常へ

【人にはすぐ慣れましたか？】

岩内町は、割とこじんまりとした町で、患者さんからは親しみを持っていていろいろと質問される。愛媛のイントネーションが違うのか「どこから来たんだ？」「関西から来たんか？」と泊原発の関係者もいて、愛媛には伊方原発があるので、興味を持たれたことも多い。

【北海道の言葉は慣れるまで、わかりにくいでしょう？】

「お年寄りとかになると、最初のころは何言っとるんかわからなくて、わかってもらえないけれど、『あーそうなんですね』って言ったり、ほとんどわからなかった(笑)」

【驚いたことは何でしたか？】

◆北海道に来た当初、夜の暗さにびっくり！

夜道を歩くとき、お化けが出るんじゃないかと本当に怖かった。

「愛媛と比べて、北海道の道は、とても広くて、がらんとした感じがあり、街中を外れて住宅街に入ると、街灯も少なく、最初の3日間は、**とんでもないところに来てしまった**と思いました。」

◆1月初めに大雪が降った事！

（雪かきに奮闘）

初めての大雪は、感動より驚きだった。

◆瀬戸内の海に比べ北海道は**海の青が濃くて、感動！癒されました!!**

病棟師長情報：車の雪下ろしの仕方がわからず、副師長にSOSした



【職場はどうでしたか？】

つらかった時期もあったが、師長さんや副師長さんに相談したり、助手さんご飯に誘ってくれたり、周りに助けられた。少し看護師の人数が少ないのと、一人で持つ患者さんがそれなりに多いので、大変と思うところもあった。助手さんもいて、ご飯の介助、トイレ介助、ナースコールにも出てくれるので助かっている。

【北海道は旅行できましたか？】

函館・積丹（神威岬…）

釧路・根室（納沙布岬…）

小樽・札幌・北広島（エスコンフィールド）

ニセコ（アンヌプリ・高橋牧場…）

レンタカーやJRなどで2泊3日などの小旅行をしたが、今は、**北海道暮らし自体が日常**となっていて、周囲をドライブするくらいがちょうど良い

ついには、マイカー購入!!



【自身の変化や看護への思い】

愛媛では仕事の内容や忙しさの違いもあったが、「これをこのまま定年まで続けていくのか、あと何十年も働かないといけないのか」、マイナスなことばかり考えていたが、「**やはりこの仕事しか知らないし、できないと、覚悟ができた。頑張っていかなければ！**…いずれ愛媛に戻るが、**遠く離れた北海道でも頑張っている人がいると思うと、自分も頑張ってみようという気持ちになれると思う。**」

